

中国新聞社刊の単行本「移民」(一九九二年)を読んだ。身一つで海を渡って異境に根を下ろした人々が、想像を絶する苦勞をされている。全国屈指の移民県である広島生まれの一人として、何か一緒にできることはないかと思っ

た。AMD Aは現在、中南米で次の長期プロジェクトを実施している。ホンジュラスでの青少年育成・エイズ予防教育、コミュニケーション薬局運営支援、ペルーでは住民の保健活動支援、ボリビアでは救急救命医(土研修)などである。

○ ○ ○ ○ ○
中南米では自然災害が頻発する。九八年にはハリケーンがホンジュラスとニカラグアなどを襲い、死者・行方不明者一万八千人以上を出した。緊急救援活動にAMD Aは、本部と沖繩県支部、カナタ

今を読む

AMD A理事長
菅波 茂



遠くの親類と手携えて

公共財産としての移民

による救援チームと物品の迅速な入国のみならず、大使公邸への宿泊など便宜供与には感謝のみだった。ヤマニハ医師は沖繩県移民二世である。沖繩県支部は中南米の災害救援には必ず医療従事者を派遣してくれる。二〇〇五年十月に死者・行方不明者千五百十三人、被災者約四十七万五千人を出したグア

今、BRICS(ブリックス。ブラジル、ロシア、インド、中国の四方国の頭文字をとった造語)の時代と言われ、差し支えないだろう。公共財産を名実ともに生かすためには、非血縁共同体社会である広島県も、「近い他

ペルーそしてボリビアの各支部から編成された多国籍医師団を派遣した。日本政府も、自衛隊として初の災害救援に

二百人を派遣し、日本大使館は手いっぱいだった。そんな折、AMD Aの世話をしてくれたのは駐ホンジュラス・ペルー大使のピクトルラス。AMD Aペルー支部のAMD A多国籍医師団で小児科医である。大使特権

テマラの豪雨・地滑り被災者救援活動。JICAがアテナラ事務所の三沢吉孝所長に温かい配慮をいただきながら、同沖繩県支部とホンジュラス

将来、道州制に移行すれば、地域間競争とともに擬似国家として直接に海外との交流が求められる。その点、広島とするが考えられる。最後に提案をしたい。私が講師をしている県立広島大が、中南米の広島県移民にとって教育面での母国のランドタワーになることを。そして、中国新聞の週末の「ページを、読者と世界の広島県移民との相互信頼醸成に用いること」を。メディアの最大の公共性は「人と人の連帯の創出」にあるから。なお、「困った時に助けてくれるのが真の友」を実践される緊急人道支援にはAMD Aの活用を喜んで連携したい。